

重点施策 15 図書館の蔵書及び機能の充実

【施策方針】

地域文化の創造・発展に寄与するとともに、誰でも気楽に利用できる図書館を目指し、機能と経営の充実を図る。市民の読書意欲に応え、教養が深まる読書活動を推進する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 図書館資料の整備及び充実
- ② 読書活動の推進及び読書団体等の育成
- ③ サービスの充実

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 図書館資料の整備及び充実

図書館は、蔵書の充実が最優先課題である。予算編成時においては、例えば小中学校では図書購入の予算が潤沢にないことから幅広く新刊を購入することができず、市立図書館がその受け皿としての役割を果たすことが重要となっていることなどを説明し、蔵書の充実に努めている。

蔵書の選択については、図書館流通センターから出される新刊リスト、ベストセラー、市民からのリクエストにより決定した。

② 読書活動の推進及び読書団体等の育成

ボランティアグループによるおはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を推進した。おはなしボランティア養成講座を開催し、ボランティアスタッフのスキルアップを図った。

③ サービスの充実

図書館向けスマホアプリを導入し、利用者カードの代わりに使用可能にしたことで更なる利便性の向上を図った。

予約・リクエスト・相互貸借・レファレンス(調査)などのサービスを迅速に実施した。

【事務事業点検評価委員意見】

- 図書館には様々な種類の本があり、ページをめくる度に、新鮮な驚きで感動することも多い。大人も子どもも、図書館で一生忘れることのない一冊に出会うことも多い。学校で学んだ作家の他の作品を読みたい子どもたちも多くいると思われる。八幡浜・保内図書館とも、蔵書がとても充実している。今後も、予算確保に努め、新刊・ベストセラー・児童書などを、現在のように、市民からのリクエストにより決定してほしい。今後も、市民に喜ばれる図書

館であってほしい。

- 最近の子どもたちは、ゲーム等に時間を費やし、本の良さを知らずにいることが多い。本の世界に浸る楽しさを、ぜひ知ってほしい。本に親しむためにも、読み聞かせのボランティアグループの活動や読書活動事業の充実に努め、今後もしっかりと支援してほしい。
- 図書館向けスマホアプリを導入したことで、利便性が向上した。ただ、高齢者には、丁寧に説明して、活用できるように支援が必要だと思われる。

【自己評価】

- 市民が必要とする知識や情報を、必要な時に適切に入手できるよう、蔵書や図書館サービスの更なる充実に努めたい。
- おはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、みかんぼんぽん文庫、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を引き続き推進していきたい。読み聞かせボランティア団体との連携をさらに深め、活動が継続できるよう今後も支援していきたい。ブックスタート事業やセカンドブック事業は、保護者が子どもに読み聞かせする機会となるため今度も継続して実施し、読み聞かせの啓発に努めたい。
- 図書館向けスマホアプリを導入したことで、利用者カードの代わりにスマホを使えることになり利便性が向上した。また、マイブックリスト機能で自分の読書記録が作成可能となり自分が読みたい本、読んでいる本、読み終わった本の管理ができるようになった。今後は、スマホの扱いが不慣れな高齢者の方々にも丁寧に説明して、多くの利用者がスマホアプリを活用できるように支援をしていきたい。